

安全・適正就業だより



☆☆☆☆ いつまでも 働く喜び 無事故から ☆☆☆☆☆

6月7日の巡回報告



秩父市クリーンセンター草刈り作業現場を巡回しました。6人の会員さんが仕事をしていました。



会員の車には小石飛散防止のシートが張られていました。



隣の人と間隔をあけるための工夫と、上下に重ならないための工夫がされていました。また、防護シートを張る支柱の工夫もされていました。丁寧に、きれいに作業が行われていました。



現場は、傾斜地なので十分に注意す

ることと、外作業なので、暑い時は適度な休憩とこまめな水分補給を行うように伝えました。

熱中症を予防しましょう・・・(予防対策)

熱中症は、高温多湿な環境に永く居ることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスがくずれて、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態をいいます。

- 1 暑さを避ける
 - (1) 室内では、扇風機、エアコン、遮光カーテンなどを有効に使用する。
 - (2) 外出する時は、日傘や帽子を着用する。
 - (3) 天気の良い日は出来るだけ外出を避ける。
 - (4) 通気性のよい吸湿性・速乾性のある衣服を着用する。
- 2 こまめに水分を補給する
- 3 熱中症を疑われる人を見たら、涼しい場所へ移して身体を冷やし水分を補給しましょう。水が飲めない、意識がないような場合は、直ぐに救急車を呼びましょう。

全国では、多くの重篤事故が発生しています

- 1 公共の庁舎の階段を上から下に向かって清掃している時に、不意に平衡感覚を失い、バランスを崩した。階段から落ちてしまいそうな危険を感じたので、とっさに下から3段目から飛び降り片足（右足）で着地したため、全体重が踵にかかり骨折して入院した。

当日、少し体調が悪かったので休もうと思ったが無理をして仕事に出ていた。休憩を取りながら仕事をしていたとのことであるが、この無理が事故の原因だと考えられる。

シルバーの仕事は「安全第一」です。体調が悪く感じた日は無理をしないで休むことが大切です。高齢者が転落・転倒がしやすい要因は、体や感覚の衰えといった「身体的な要因（加齢に伴う筋力の衰えや老眼・白内障などによる視力の衰えなど）」と、環境にかかわる「環境的な要因（滑りやすい床や階段の障害物、小さな段差など）」の2つがあります。踵の骨折は形も複雑になりやすく治療の難しい骨折だといわれています。特に高齢者の場合、後遺障害を残すことも多いので注意が必要です。

- 2 自宅から徒歩で就業先に向かう途中、信号機のない横断歩道付近を横断していて軽乗用車にはねられて死亡した。

主たる事故の原因は、運転手の前方不注意による過失であるが、道路を横断する際の左右確認不足もその1つだと考えられる。道路を横断する時は必ず横断歩道を横断することと、左右をよく確認して横断することが大切です。

紫外線と上手にお付き合いを…

紫外線って何？…太陽から地球に届く光の中であって、波長の長い方から赤外線・可視光線、そして一番短いのが紫外線です。過度に浴びると、目の充血や角膜炎などの原因や、皮膚がんの原因になるとも言われています。注意しましょう。

1 紫外線の特徴

- (1) 透明ガラスやカーテンを一定量通す（部屋の中にも入ってくる）。
- (2) 曇りの日でも、快晴時の50%～75%、雨の日でも20%～30%の紫外線が届いている。

外出する時は、帽子や日傘、日焼け止めクリームを塗りUVカットされたサングラスを着用してできるだけ紫外線を浴びないようにしましょう。



秩父市シルバー人材センター
秩父市野坂町1-13-14

安全・適正就業委員会
電話 22-4454